根源實紫（こんげんみしさき）

十六

上の巻

根源實紫

上巻

笠亭仙果作

梅蝶樓國貞画

泉喜太板

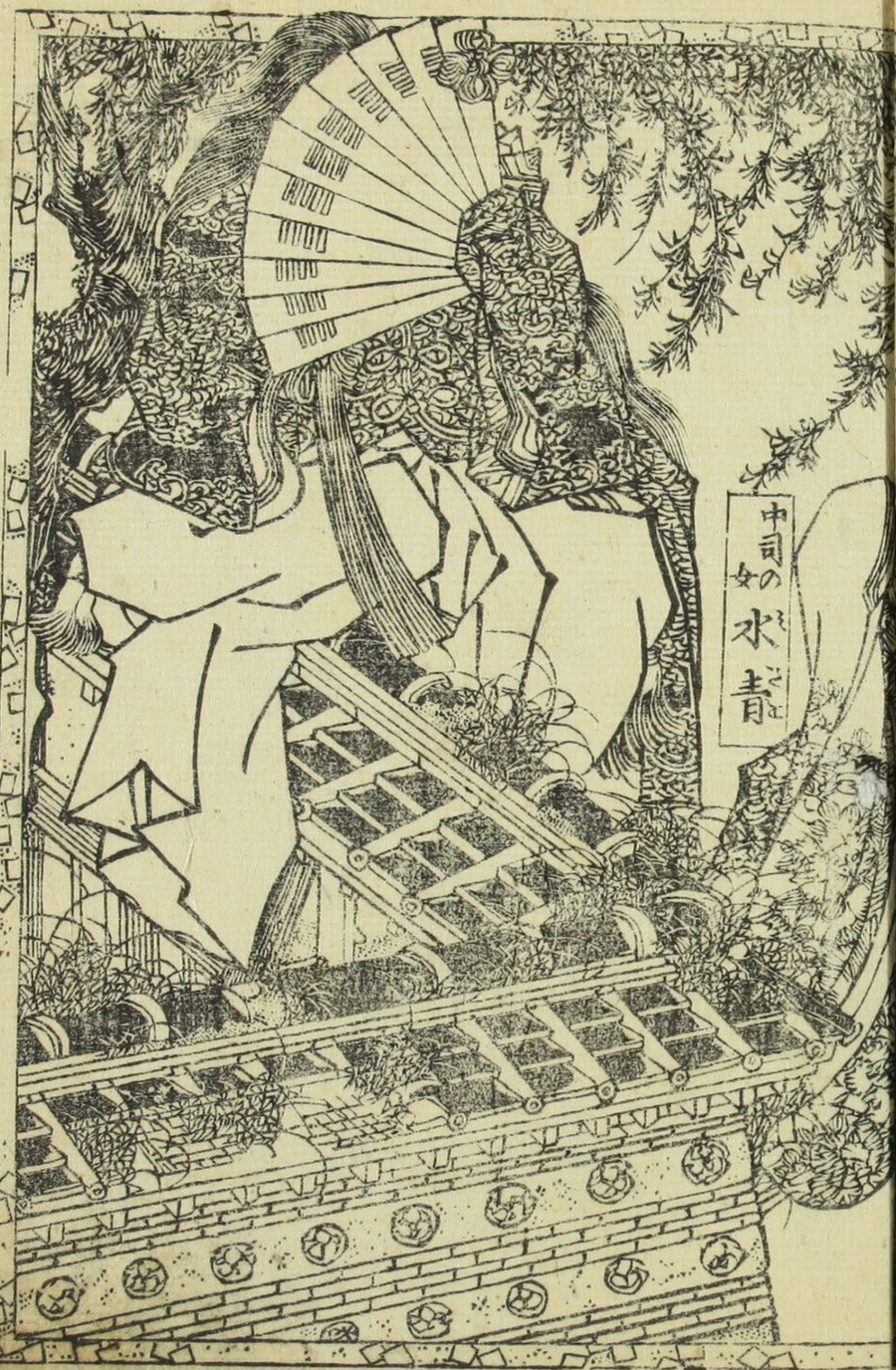
明治文庫

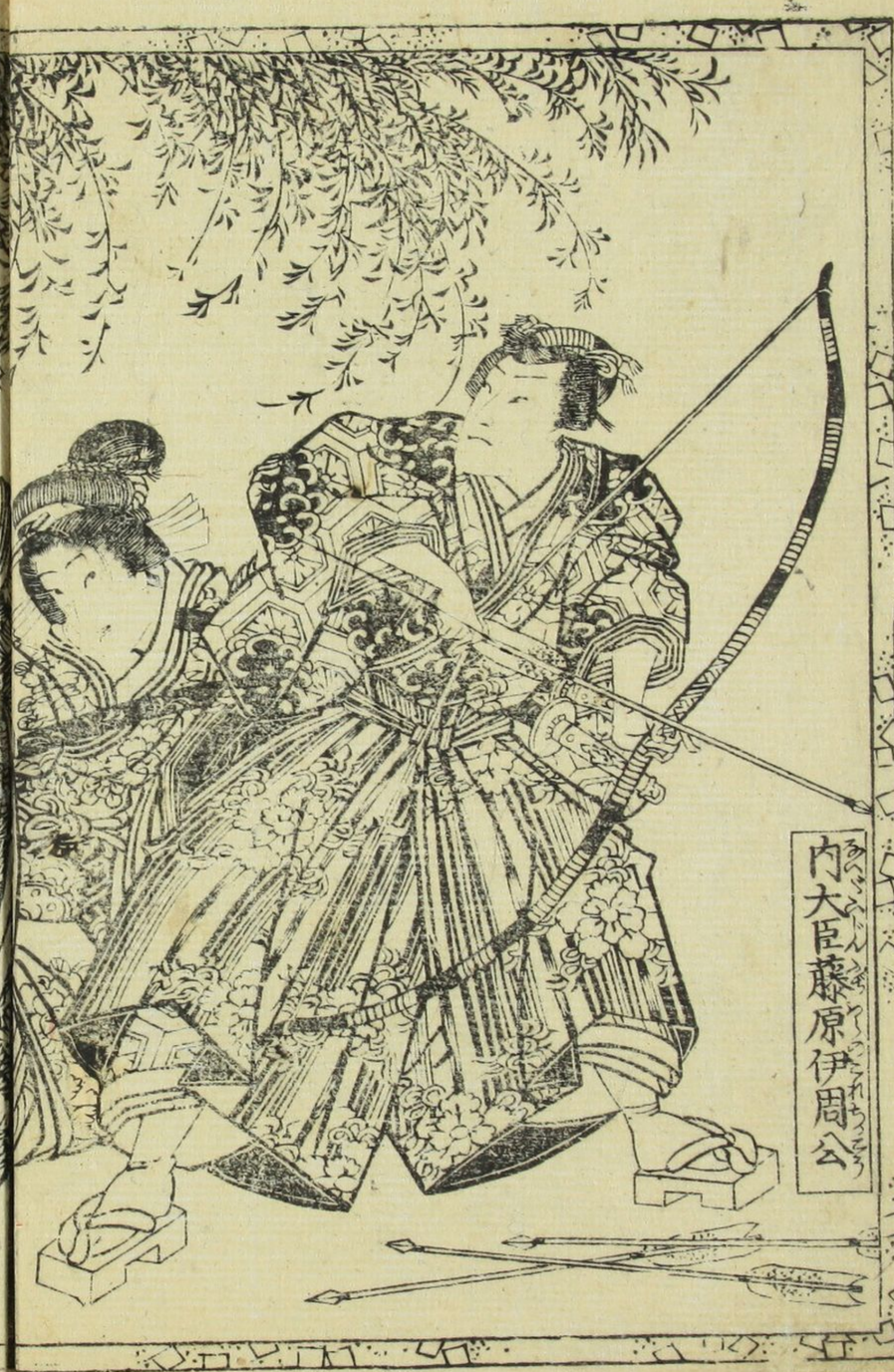
白仙院法猪右仙せのもの林柿右の
家釈禅師ふいたるの功法あるんとて法
ちもたりもとをとへうとりのまうさて
ものよりもたちとそとうとうとうとうとう

古い續古事談一巻に令載て本文ゆゑ櫛彦が所謂達摩の無功德ゆ
ゑ口まゝちもゝ罪ゆゑ云々の一言い温和より聞えて殊に美ー實紫へ傳紫の
やうな物やゝ誂ありし、の更々其ゆゑに似るつゞけ勧善懲悪を戯作乃
本意あれども拙筆ゆゑ千辛万苦の功德なく幼童の教訓にあるゝ
ゝ毒ゆゑいとうんちりゆちゞと律師法口ゆ伝る者い

戊辰年春發販　　柳亭のち種彦六戸ゆ筆

女童 旦見
家集
紫式部


中司の女 水青


内大臣藤原伊周公

女医
司命子
中司
宣
豊

二
一のまくしたて
とくへらを
とりやき
おぶたいの
のちさいひ
ありて
梶
西
宮

嶋
櫛

梭
花
藤

藤
校

曲亭馬琴作

新編金瓶梅全輯　為永春水作　黄金水大畫盃　一篇大尾

同　女郎花五色石臺　柳亭種彦作　琴聲義人録　十篇大尾

同　小女郎蜘怨芋環　笠亭仙果作　根源寶紫　三篇大尾

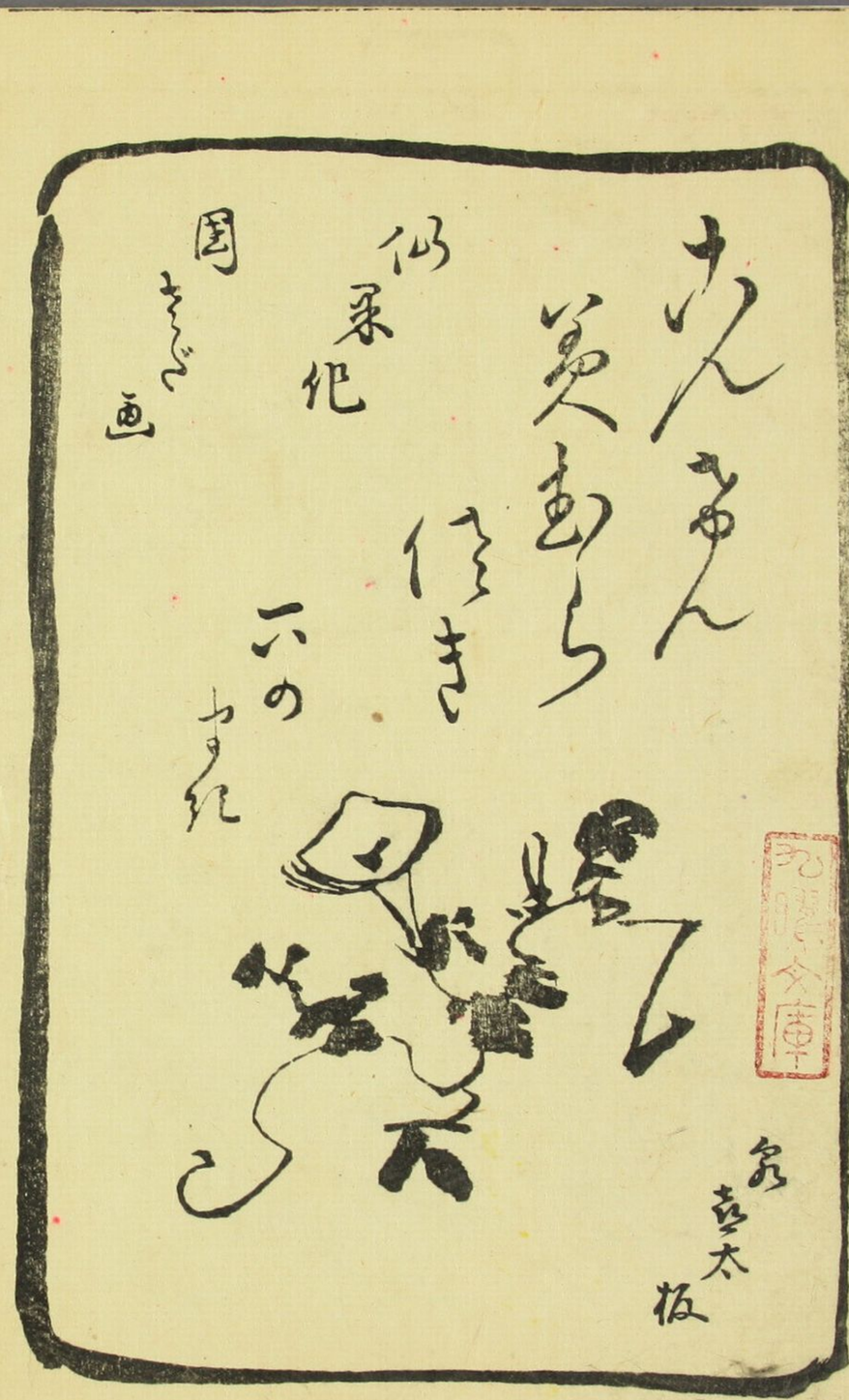
柳下亭種員作　児雷也豪傑譚　柳煙亭種久作　假名反古　一休草紙

根源實紫（えげんみあくさき）

十六

下の巻

三
紫式部


似絵化
国さだ画
彫吉太板

皆
惟
植

荒

柿

柿

流

▲さてでもよあぐどんこといのあくべーこまーもやぐどこの
くくふいのりをうけそうかぬー　ちぶごにあきぬーとて
いろぐどのこそるる社れけるのおりとなこがばごそこと
ゐゐやあせびのたるのやくくるねこぐこふいつーク
あのひをうけきごてゐをくくごさんけいくうゐさいつひふさ
ちやくあごるとあごれかかーこうゐさいつひふさ
こちのすーつこてーちのぶーこちこたこたこうゐんのー
もくこんゐくもすいどんこちこのこゐくーんゐこいどん
そもけるゞこのふくごこのこゐくーんゐこいどん
あくーこふ出ーゐすーこそこうこのねごひをうくん
くくーこそこうこうこのねごひをうくん
こきのこるるるるあくをうくる
るくにちくひーーこくこをそむき
こいちんゐこうくるゐもこくふ
くくごくんぬーこまこを　ゐくと
いくくゐこゐくーんいこれこゞ
こゐびくくゐもゐくくゐそゐ
くーくくかゐそくくひをこゐ
よこゐくくのくくゐくくゐも
ゐくくゐくくのくくゐくくゐも
ゐくくゐくくのくくゐくくゐも
ゐくく

柿
荒

十返舍一九作
滑稽道中膝栗毛

柳水亭種清作
不思議塚小説櫻

同
風俗淺間ヶ嶽

関太郎鈴ヶ譚
五篇大尾

柳水亭蕃水作
豊時田秋濃新雁
三篇大尾

柳水亭種清作
猛田姉妹新白石
同

出版人 京橋区銀座四丁目三番地 山中吉太郎

猩々作

国貞画

相源

夢ゝ庵

甘露寺

[illegible]